

令和7年度 第2回地下水保全連絡協議会 会議録

- 1 日 時 令和7年11月13日(木) 9:30～11:00
- 2 場 所 座間市役所
- 3 出席者 委 員 西海会長、山内副会長、飯島委員、坪田委員、西委員、加賀原委員、
田川委員

事務局 暮らし安全部長、生活安全課長、副主幹兼環境保全係長、主事

- 4 公開の可否 公開 一部公開 非公開

5 議 題

- (1) 令和7年度座間市地下水保全基本計画改定について
- (2) 地下水・湧水中の有害物質分析及びダイオキシン類実態調査委託及び啓発・広報について
- (3) 有機フッ素化合物分析 排水路調査の結果について
- (4) その他

6 配布資料

- 資料1 地下水保全基本計画改定 中間報告
- 資料2 座間市地下水保全基本計画
- 資料3 地下水・湧水中の有害物質分析及びダイオキシン類実態調査委託について
- 資料4 有機フッ素化合物分析 8月・9月調査の結果について

7 議 事

- (1) 令和7年度座間市地下水保全基本計画改定について

① 事務局説明

事務局 今年度行う座間市地下水保全基本計画の改定作業についてご報告する。なお説明は当該事業の委託事業者から行う。

② 質疑応答

西海委員 地下水保全連絡協議会として計画書の内容に意見する機会は、本日が最後か。

事務局 本日頂いた意見を反映してパブリックコメントに臨む予定である。第3回協議会では、パブリックコメントでの意見を踏まえた修正案を示し、ご意見を頂きたいと考えている。

- 西委員 基本計画の中では、和暦表示ではなく西暦表示としてほしい。
- 事務局 行政文書のため和暦表示になっている。記載方法を検討する。
- 西委員 P 9 雨水浸透施設等の展示状況の写真について、写真が古く見えるため、新しい写真があれば差し替えてほしい。
- 西委員 P 2 9 基本方針について、市民は地下水質の保全に興味・関心を持っている。「有害物質の適切な管理を進めることで」という表記は曖昧であるため、他の表現に変えてほしい。
- 西委員 P 5 2 湧水ツアーの開催状況の写真について、子どもが参加している写真に差し替えてほしい。
- 山内委員 P 3 4 水量・水質の保全について、座間市として何ができるか不明である。大規模開発行為に対しては、条例などで開発行為を止めることができるか。北海道における外国資本による土地購入の事例もあるので、「保全する」だけでなく先手が打てるような一文を入れるとよい。
- 坪田委員 本編の記述があっさりとしていて、資料編を見れば細かい情報が載っていて理解できることもある。「*資料編－用語集 参照」ではなく、具体的なページ数など参照先を示してほしい。
また、重要な内容については、本編の中でも詳しく説明してほしい。
- 坪田委員 P 2 3 「近隣自治体と連携を図ってきた」とあるが、具体的な自治体名が記載されていると安心する。
- 坪田委員 P 2 5 アンケート調査について、LINEアンケートを通じて市民が関心を持っていることを示すとよい。
- 坪田委員 P 4 9 有機フッ素化合物の調査について、調査・分析を継続していることだけでなく、ホームページでデータ公開している旨を記載するとよい。
- 坪田委員 P 5 1 大規模な開発行為に対する監視活動について、「開発区域内の雨水排除は雨水浸透施設を主体に開発区域内で処理」がどのようなことを説明しているのか分かりづらい。
- 事務局 趣旨としては、「一定規模以上の開発行為の際はその敷地内で浸透させて処理すること。駐車場など浸透しない場合には、雨水浸透施設で地下に浸透させること。」といった内容である。
- 坪田委員 P 5 1 リニア中央新幹線についても、「現在開発が進められているリニア中央新幹線」など、臨場感を持たせる表現にするとよい。

- 飯島委員 例えばP19など空白が目立つページがあるので、紙面のスペースを調整してほしい。
- 飯島委員 P28基本理念について、「協議会にて最終候補3案から絞った」など協議会を踏まえて理念を決定した旨を記載してほしい。
- 西海委員 資料編の中で詳細な解説がされている内容もあるが、本編のどのページと資料編がリンクしているのか分かりづらい。具体的なページ数など参照先を示してほしい。
- 加賀原委員 P79配水区域図、P100シナリオ解析結果など図の解像度が低いものがある。
- 坪田委員 P12地下水観測地点と地下水取水地点の図について、図中の文字が見づらい。
- 田川委員 地下水保全基本計画については概要版を作成するのか。
- 事務局 作成予定である。形式は変更される可能性もあるが、A3見開き形式で作成予定である。
- 加賀原委員 「目標採取量」と聞くと、採取すべき目標値のように誤解する。「上限目標値」などの方が分かりやすい。法令で文言が決まっているのか。
- 事務局 要綱で文言が決まっている。他からも同様の意見があるので、本文中で分かりやすく説明することで対応したい。
- 山内委員 P60本基本計画の推進体制の図について、市からの「報告」を協議会は「協議」で返すとなっているが、文言は適切であるのか。
- 事務局 座間市の地下水を保全する条例にて「協議」と記載しているため、この表記とさせていただきたい。

(2) 地下水・湧水中の有害物質分析及びダイオキシン類実態調査委託及び啓発・広報について

① 事務局説明

- 事務局 次年度の地下水保全対策基金について、今年度同様、地下水・湧水中の有害物質分析及びダイオキシン類実態調査を委託により実施したく、その委託料に充てさせていただきたい。合見積もりを取得したところ、以下のような金額になった。また、地下水保全の啓発のために、毎年湧水ツアーやふるさとまつりのブース出店を行っている。その際、啓発用にお示ししたような掲示やリーフレットなどを作成している。来年度、その作成のための

消耗品費に充てるため、1万円を限度として利用させていただきたい。

② 質疑応答

坪田委員 市民等への啓発は重要であるし、額も高額ではないので、消耗品については問題ないのではないかと。

山内委員 委託料については、単純に合い見積もりの金額だけを示されても判断しづらい。むしろ、委託の設計や見積もりの積算などを示してもらったほうが、妥当かどうかの判断がしやすいだろう。

事務局 では、委託料については、後日、より詳しい情報を提供したい。そのうえで、異議があればおっしゃっていただく形にしたい。

(3) 有機フッ素化合物分析について

① 事務局説明

事務局 地下水・湧水中の有機フッ素化合物調査を9月に実施した。また、排水路の調査を8月に実施した。結果はお示ししたとおりである。

② 質疑応答

飯島委員 地下水についても、排水路についても、基準の超過が見られるが、原因の推定や対処は、現状どのようなになっているか。

事務局 今回の調査結果については、地下水採取審査委員会でもお示しし、値の傾向や今後の調査方針についても御意見をいただいている。こうしたご意見を参考に、今後の調査方針を決定している。また、原因については、有機フッ素化合物が点源的ではなく面的に分布しているという分析であり、特定の原因が推測できるような状況にはない。